

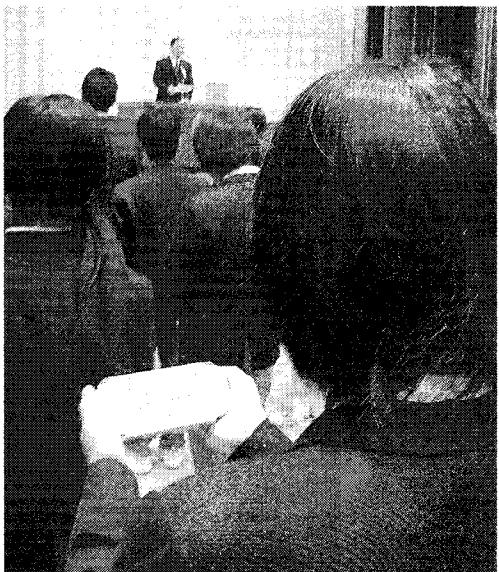
福祉 Social services

hi@mbx.mainichi.co.jp

手元で読めて手軽 パソコンより安価 発熱もなし



携帯型ゲーム機は字の色や背景、大きさも読みやすいように設定できる



東京都台東区立柏葉中では、難聴学級に通う生徒にPSPを貸し出し、朝礼や行事の時に活用している=同校提供

東京都台東区立柏葉中では、難聴学級に通う生徒にPSPを貸し出し、朝礼や行事の時に活用している=同校提供

携帯型ゲーム機を活用して、聴覚障害者に手軽に字幕を読んでもらう取り組みが東京都内の学校などでも進んでいる。「周りを気にしないから気が楽」「手元で読める」、

持ち運びも簡単」と好評だ。健聴者と比べて情報格差が指摘される中、身近な「情報保障」の手段として期待されている。

*

考案したのは、都内で手話通訳をする宮下あけみさん。「朝礼や演劇で

携帯型ゲーム機で 字幕表示。メリットは。

NAVIGATOR

要約筆記を無線受信

手軽に字幕を読む方法はないか。そう数年前から考えていた宮下さんは、多くの子どもが持つ携帯ゲーム機に着目。話を聞いた内容を要約して文字で伝える要約筆記通訳者

で、リアルタイムでパソコン入力した文字をブラウザ（ウェブページ閲覧ソフト）で読み取るソフト「IPtalk broadcaster」を開発した森直之さん（27）=静岡県裾野市=に

IMでパソコン入力した文字をブラウザ（ウェブページ閲覧ソフト）で読み取るソフト「IPtalk

（域内情報通信網）を開発した森直之さん

（「iシティンダード」）は付属品が必要なことなどから、「誰でも気軽に使える」という点で、PSPが最も実用的だった。

教育現場では既に実践

加する講演会などの会場では、パソコンと接続したスクリーンを設置し、従来は聴覚障害者が参

発売元のソニーは「いいいう活用法があるとは想定外。読みやすい文字の表示方法など開発段階でできることがあれば取り入れ、サポートしたい」と協力する姿勢だ。

宮下さんは「演劇や映画館など字幕のない公

相談した。試行錯誤の結果、ソニー・コンピュータエンタテインメントの「プレイステーション・ポータブル（PSP）」で実験に

されている。聴覚障害の生徒2人が通う東京都台東区立柏葉中では以前、朝礼や全校集会の際、徒は立ったままノートパソコン（B6サイズ）を

抱え、無線LANで画面に流れる要約筆記を読んできたが、昨年12月から、学校側が購入したPSPを生徒に貸与。「軽い」、「IPtalk broadcaster」は森直之さん（27）=静岡県裾野市=に

成功。PSPは、ケーブルをつなげずに電波で文字や音声、画像データをやり取りする無線LAN

を生徒に貸与。「軽い」、「IPtalk broadcaster」は森直之さん（27）=静岡県裾野市=に

抱え、無線LANで画面に流れる要約筆記を受け入れやすいメリットが見込まれる。

*

学校で集会に活用 用途拡大に期待

が、「broadcaster」を備えた携帯ゲーム機などの手元で文字を読むことが可能。一度表示した文字を読み返すこともでき、聴覚障害者が少ない会場でも要約筆記を受け入れやすいメリットが見込まれる。

これまで文字を打ち出していた

「福祉」は隔週掲載です。取り上げてほしい話題やご意見、情報を寄せください。

〒100-8051（住所不要）毎日新聞くらしナビ「福祉」係。郵便、メール（アドレスはページ上段）で。

【時田備憲】